

平成24年度事業評価シート

事業名		95100	スポーツライフ推進事業費		担当課	市民課活動部 スポーツ推進課		内線	
		枝番					2357		
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	3	スポーツ	
	項	5	保健体育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1	体育総務費			施策	1	スポーツ活動の充実	
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画							
実施計画事業		スポーツライフ推進事業							
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室やスポーツ大会の開催 ・FC岐阜連携事業(サッカー教室)の開催 				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	開催回数	回	目標値	90	90	90
		実績値			108	114	-
	算出根拠等			達成率(%)	120	127	-
	成果指標	参加者数(延べ人数)	人	目標値	11,200	11,200	11,200
		実績値			12,563	13,384	-
	算出根拠等			達成率(%)	112	120	-
				目標値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
			目標値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		1,511	1,949	3,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		1,511	1,949	3,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		120	146	268		
	受益者	参加者	(B)	12,563	13,384	11,200	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)			
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	生活様式の多様化や健康志向の高まりなど、スポーツに対する市民ニーズは年々高まっている			
		B (1)	ある程度のニーズがある					
		C (0)	ニーズが低い					
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむ環境をつくるためには、市が事業主体として、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツにふれる機会の拡充を図る必要がある			
		B (1)	一部見直しが必要である					
		C (0)	市が実施する必要性が低い					
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	・活動・成果指標の目標値を十分に達成している ・子どもたちを対象とした事業については、多くの参加者がある			
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている					
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である					
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	コスト縮減に努めている			
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている					
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があつた	B	スポーツ教室等の開催を通じて、スポーツに親しむ機会が創出されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があつた			
		B (1)	ある程度効果があつた					
		C (0)	あまり効果が見られなかった					
合計		8	/	10	→	100点換算	80	点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに応じたスポーツ教室等を開催していく必要がある ・子どもたちがスポーツを通じて将来の夢を育むことができるような事業展開が必要である
---------------------------------------	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	市民ニーズに応じたスポーツ教室を開催していく必要がある
----------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに応じたスポーツ教室等の開催 ・FC岐阜連携事業の見直し(対象者の拡大等)
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	・スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する ・子どもたちがスポーツを通じて将来の夢を育むことができるよう、FC岐阜連携事業等の内容を見直し、拡大する(仮)子ども夢創造事業								

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	・引き続き、市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等参加者の増加に努める必要がある。 ・FC岐阜連携事業等については、市民ニーズや受益の偏在等を再検証した上で検討していく必要がある。								

平成24年度事業評価シート

事業名	95110	スポーツ推進委員会事業費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線 2357
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業		スポーツ推進委員会事業				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進委員の委嘱		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	スポーツ推進委員の委嘱(80人)					
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	スポーツ推進委員活動数(研修会含む)	回	目標値	52	60	60
				実績値	52	57	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	95	-
	成果指標	活動延べ人数(研修会含む)	人	目標値	1,500	1,500	1,500
				実績値	1,216	1,198	-
	算出根拠等			達成率(%)	81	80	-
				目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		7,874	7,878	8,172		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源	7,874	7,878	8,172			
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		84	84	88		
	受益者	全市民(B)	93,822	93,312	92,861		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・市民の健康志向やスポーツニーズの高まりとともに、スポーツ推進委員に対して適正な指導・助言を求める声は高い ・スポーツ基本法の制定に伴い、地域スポーツ活動の推進体制のより一層の充実が求められており、スポーツ推進委員の役割はますます重要となっている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・スポーツ基本法にもとづく委員である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	活動・成果指標の目標値を概ね達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	コストの大部分がスポーツ推進委員の報酬である
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	スポーツ推進委員の活動を通じて、スポーツ参加機会の創出が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・スポーツ推進委員活動のより一層の充実を図る必要がある ・スポーツ推進委員のあり方について検討する必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する
----------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ推進委員の資質向上に向けた取り組み ・スポーツ推進委員のあり方についての検討
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	・スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する ・スポーツ推進委員のあり方の検討結果にもとづき対応する(スポーツ推進委員活動の充実)				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成24年度事業評価シート

事業名	95125	スポーツ少年団育成補助金	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	地域スポーツ活動推進事業					
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	スポーツ少年団員	対象者数	1,626 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ少年団活動に対する支援		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	高山市スポーツ少年団に対する支援					
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	スポーツ少年団活動回数	回	目標値	27	27	27
				実績値	27	26	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	96	-
	成果指標	スポーツ少年団委員数	人	目標値	1,710	1,710	1,710
				実績値	1,660	1,626	-
	算出根拠等			達成率(%)	97	95	-
				目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		750	750	750		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		750	750	750		
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		452	461	439		
	受益者	スポーツ少年団員(B)	1,660	1,626	1,710		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	スポーツ少年団活動は、青少年期における重要な活動であり、市民ニーズも高まっている	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	少年期にスポーツ活動に取り組める環境を整備することは、青少年の健全育成はもとより、生涯スポーツ社会の実現につながるため、市が主体となってスポーツ少年団の育成を支援する必要がある	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	活動・成果指標の目標値を概ね達成している	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	支援のあり方等について検討している	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちがスポーツ活動に取り組める環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 10	→	100点換算	70 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	スポーツ少年団の活動状況の分析と支援のあり方について検討する必要がある
---------------------------------------	-------------------------------------

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	平成22年度事業評価において、今後は各種団体等の自立や自主的運営を視野に入れながら取り組む必要があるとの指摘をしており、スポーツ少年団への支援のあり方については、こうした視点からも検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	スポーツ少年団の活動状況の分析と支援のあり方についての検討
-----------------	-------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団の活動状況の分析と支援のあり方についての検討結果にもとづき対応する(スポーツ少年団活動の充実等)				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・スポーツ少年団への支援については、意図・成果目標を明確にするとともに、各計画における位置付けや既存事業との調整等、整理が必要である。				

平成24年度事業評価シート

事業名	95130	各種体育大会開催補助金	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線 2357
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業		スポーツ大会開催事業・地域スポーツ活動推進事業				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組みきっかけをつくる 全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する 		
概要	事業の実施手法(手段)	飛騨高山社会人野球大会、全国高等学校選抜スキー大会の開催支援		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山社会人野球大会の開催 全国高等学校選抜スキー大会の開催 				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	大会開催数	大会	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	-
	成果指標	観客数	人	目標値	1,200	1,200	1,200
				実績値	1,200	1,200	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)				-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)				-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		6,450	6,450	6,450		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	5,000	4,000	4,000		
		一般財源	1,450	2,450	2,450		
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)	5,375	5,375	5,375		
受益者 観客者 (B)		1,200	1,200	1,200			

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	A	<ul style="list-style-type: none"> 一流の競技スポーツにふれる機会を求める市民ニーズは大きい 大会誘致がもたらす経済効果に期待する声も大きい
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	全国レベルの大会の開催は、市民のスポーツに対する関心の高まりやスポーツに取り組むきっかけづくり、地域の活性化等の効果が期待されるため、市が主体となって誘致に取り組む必要がある
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	活性化センターの助成金の削減等を踏まえ、コスト縮減に努めている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	B	全国レベルの大会の誘致を通じて、スポーツに関する意識が醸成されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 全国高等学校選抜スキー大会のあり方等について検討する必要がある 大会参加選手と市民との交流機会の拡充を図る必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組みきっかけをつくる 全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する 全国高等学校選抜スキー大会のあり方について検討する
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 全国高等学校選抜スキー大会のあり方等についての検討(関係機関との協議等) 大会参加選手と市民との交流機会の拡充
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組みきっかけをつくる 全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する 全国高等学校選抜スキー大会のあり方等についての検討(関係機関との協議等)を継続する 				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの大会について、意図・成果目標を明確にするとともに、各計画における位置付けや既存事業との調整等、整理が必要である。 				

平成24年度事業評価シート

事業名	95135	体育総務事務費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業						
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進審議会の開催 ・全国大会等出場者への激励 ・海洋体験学習参加への助成 ・スポーツイベント来高者に対するおもてなし対応 					
		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		1,514	2,252	2,685		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	171	156	234		
		一般財源	1,343	2,096	2,451		
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		6,105	6,929	8,718	
受益者		人数(激励・海洋体験)(B)	248	325	308		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	生活様式の多様化や健康志向の高まりなど、スポーツに対する市民ニーズは年々高まっている	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市、関係団体、市民等が一体となって、第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る必要がある	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	スポーツ推進に係る事務費であり、活動・成果指標の設定が困難である	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	各種取り組みを通じて、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層のスポーツの普及や競技力の向上を図るため、専門的スポーツ指導者の育成確保が必要である ・ぎふ清流国体を今後のスポーツの推進等につなげていく必要がある
---------------------------------------	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る
----------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者養成に向けた支援についての検討 ・ぎふ清流国体を契機とした更なるスポーツ推進策についての検討
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る ・スポーツ指導者養成に向けた支援についての検討結果にもとづき対応する(スポーツ指導者養成講座受講者等に対する支援等) ・ぎふ清流国体を契機とした更なるスポーツ推進策についての検討結果にもとづき対応する(スポーツ意識の高揚、競技力の向上等) 								

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者養成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある。 									

平成24年度事業評価シート

事業名	95230	体育施設維持管理費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線 2357
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業		スポーツ施設管理事業				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の維持管理等		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		指定管理者による施設の維持管理等				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	施設数	施設	目標値	65	64	64
		実績値			65	64	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	580,000	580,000	580,000
		実績値			588,673	549,443	-
		算出根拠等		達成率(%)	101	95	-
				目標値			-
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			-
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		175,175	172,766	172,233		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	1,047	934	920		
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源	174,128	171,832	171,313		
コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		298	329	297		
	受益者	利用者	588,673	525,492	580,000		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	施設の利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、適正な維持管理が必要である	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	市有施設の維持管理である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・平成23年度は東日本大震災による活動自粛や天候不順の影響により、利用者が減少している ・冬期間の利用を望む声がある	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	指定管理制度を導入し、利用者サービスの向上、コスト縮減に努めている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	適正な維持管理により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 10	→	100点換算	70 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合について検討する必要がある ・利用期間の拡大など施設のより一層の利用促進を図る必要がある ・施設使用料について検討する必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	平成22年度事業評価において、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を検討する必要があると指摘しており、こうした検討を引き続き行う必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	施設の利用状況の分析と利用者意見の集約
-----------------	---------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・全庁的な公有財産有効活用方針にもとづき対応する(類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合等) ・施設のより一層の利用促進を図る(利用期間の拡大等) ・全庁的な施設使用料の見直し方針にもとづき対応する(施設使用料の見直し等)				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H24完了予定
	・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	95235	夜間照明体育施設維持管理費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	スポーツ施設管理事業					
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校グラウンドの夜間照明の維持管理 高等学校夜間照明施設の利用 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校グラウンドの夜間照明の維持管理 高等学校夜間照明施設の利用 				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	施設数	施設	目標値	27	27	27
				実績値	27	27	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	32,000	35,000	35,000
				実績値	34,478	23,951	-
	算出根拠等			達成率(%)	108	68	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)(A)		2,738	2,630	2,710		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	1,106	1,013	1,200		
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		1,632	1,617	1,510		
	コスト指標	受益者1件当たり(円)(A/B)		79	110	77	
受益者		利用者	34,478	23,951	35,000		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	A	夜間にスポーツに取り組みたいという市民ニーズは高い	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市有施設の維持管理である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度は東日本大震災による活動自粛や天候不順の影響により、利用者が減少している 冬期間の利用を望む声がある 	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	利用可能期間以外は通電停止を行うなど、コスト縮減に努めている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	A	夜間におけるスポーツ環境が確保される等、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		8 / 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 利用期間の拡大について検討する必要がある 施設の老朽化に伴い、計画的な施設修繕が必要である
--	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する
----------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用状況の分析と利用者意見の集約 施設修繕計画の策定
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る(利用期間の拡大等) 施設修繕計画にもとづき、施設修繕を実施する 				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 将来負担や財源を考慮した適正な修繕計画に見直す必要がある。 				

平成24年度事業評価シート

事業名	95238	高地トレーニング強化拠点施設高機能化事業	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線 2357
	枝番					
予算	会計	1	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9		分野	3	スポーツ
	項	5		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2		施策	2	スポーツ施設の整備
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業		飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進事業				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、国内外スポーツ競技者	対象者数	92,861 人超
	どういう状態にしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医科学サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進 				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	施設数	施設	目標値	1	1	1
		算出根拠等		実績値	1	1	-
	成果指標	利用者数	人	目標値	1,000	1,200	1,200
		算出根拠等		実績値	941	1,666	-
				達成率(%)	100	100	-
		算出根拠等		達成率(%)	94	139	-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	19,535	12,678	28,396	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		1,506	2,215	1,800	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)		10,777	1,372	10,000	
		一般財源		7,252	9,091	16,596	
	コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	20,760	7,610	23,663
受益者		利用者	(B)	941	1,666	1,200	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	高地トレーニングに対する認識の高まりとともに、市民ニーズは高まってきている	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、下呂市や民間との連携を図りながら、市が主体的に取り組む必要がある	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	指定管理制度の導入について検討している	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの整備を通じて、スポーツの振興と地域の活性化が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		8 / 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング環境の整備と利用促進を図る必要がある 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入をすすめる必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	今後は、施設整備を重視した施策から利活用を重視した施策に転換していく必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング環境の整備と利用促進 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入についての検討 ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定更新に向けた国・JOC等関係機関との協議
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング環境の整備と利用促進を図る 全庁的な公有財産有効活用方針・施設使用料の見直し方針にもとづき対応する(飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入等) 									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある。 体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある。 									

平成24年度事業評価シート

事業名	95240	体育施設改修整備費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線 2357
	枝番					
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業		スポーツ施設整備事業				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	国府B&G海洋センタープール改修工事ほか					
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円) (A)		49,295	29,916	29,000		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	10,690	9,400			
		一般財源	38,605	20,516	29,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)		84	57	50		
	受益者	利用者 (B)	588,673	525,492	580,000		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市有施設の改修整備である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	施設の改修整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、活動・成果指標の設定が困難である	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	コスト縮減等を図りながら、計画的に整備改修を行っている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	施設の改修整備により、利便性の向上や安全性の確保が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に改修整備を行う必要がある
---------------------------------------	---------------------------------------

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	・体育施設修繕計画に基づき利用者の目線に立った計画的な施設整備を行う必要がある。また、平成22年度事業評価において、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を検討する必要があると指摘しており、こうした検討を引き続き行う必要がある ・競技人口のバランスに配慮した施設整備を行う必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた改修整備 ・市民ニーズ、施設の利用状況、修繕の緊急性等を踏まえた施設修繕計画の見直し ・施設の非構造部材安全点検の実施とその結果にもとづく施設安全整備計画の策定
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	・施設修繕計画にもとづき改修整備を実施する ・施設安全整備計画にもとづき改修整備を実施する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある。 ・非構造部材の安全対策も含め、将来負担や財源を考慮した適正な施設修繕計画に見直す必要がある。				

平成24年度事業評価シート

事業名	95245	体育施設管理事務費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	スポーツ施設管理事業					
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	<ul style="list-style-type: none"> 管理事務費 公衆便所清掃委託 					
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円) (A)		3,709	4,133	8,992		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源	3,709	4,133	8,992			
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)		40	44	97		
	受益者	全市民 (B)	93,822	93,312	92,861		

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	施設の利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、適正な維持管理が必要である	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市有施設の管理事務である	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	施設の管理事務であり、活動・成果指標の設定が困難である	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	コスト縮減に努めている	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	適正な管理運営により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する必要がある
---------------------------------------	-----------------------------

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	施設を適正に管理運営する
----------------------	--------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	施設の適正な管理
-----------------	----------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				